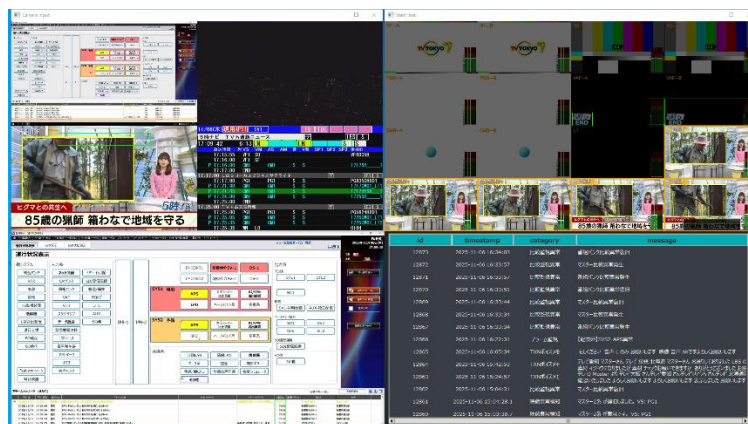


テレビ放送の運行状況、AI が自動監視 TVh、「VMO-AIPlus」を開発 ～「Inter BEE 2025」で初公開～

テレビ北海道(TVh、札幌市)は、テレビ放送の運行状況を監視、制御するマスターの業務を AI(人工知能)で自動化するシステム「VMO-AIPlus」(※特許・商標登録出願中)を開発しました。放送を滞りなく実施できているかを監視したり、番組や CM を送出したりする業務を従来のオペレーターに代わって AI が自動で行い、マスター業務の省力化を一気に進めます。11 月 19 日から 21 日まで幕張メッセ(千葉市)で開かれる「Inter BEE 2025」で展示・公開し、販売を始めます。

VMO-AIPlus はマスター業務のリモートオペレーションを可能にした TVh の独自システム「VMO(バーチャルマスターオペレーター)」の技術をベースに、新開発の AI で放送の監視や制御を自動化しました。障害発生時には AI が原因と対策を瞬時に判断して状況をメールで通知し、オペレーターは監視室にいらなくても状況の把握と対応ができるようになります。障害時の復旧制御を AI に任せることもでき、AI が対応の内容や復旧状況をメールで知らせます。既存の設備の種類やメーカーを問わずに導入できるのも特徴で、マスターで管理している映像の信号や管理用の画面情報をそのまま使って業務を効率化できます。

価格は自動監視と通知のみの基本パッケージが月額 40 万円(税別)。自動制御などはオプションの機能として提供します。TVh は VMO-AIPlus の提供を通じ、全国の放送局のマスター業務の一層の効率化と安全運行の実現に貢献してまいります。



VMO-AIPlus の画面イメージ

【問い合わせ先】

テレビ北海道

技術・DX 推進局 高橋康二 [Tel:011-232-1122](tel:011-232-1122)

VMO 推進室 高橋寿也 Tel:011-232-7157